

(別添2-1)

学 則

①商号又は名称	株式会社プレースメント
②研修事業の名称	㈱プレースメント 福祉のキャリアカレッジ 介護職員初任者研修・総合福祉科
③研修の種類	介護保険法施行令に基づく介護員養成研修
④研修課程及び学習形式	介護職員初任者研修課程 <ul style="list-style-type: none"> ・通学形式 ・通信形式（通信学習実施計画書（別添2-10）を参照。）
⑤事業者指定番号	29
⑥開講の目的	子どもからお年寄り、身体障害者が安心して暮らせるような地域社会の実現を目指して地域づくりの担い手に必要な正しい知識、技術を習得し良質な介護ができる人材育成を目指す。
⑦講義・演習室 (住所も記載)	キャリアカレッジ大阪駅前校 <ul style="list-style-type: none"> ・大阪市北区梅田1丁目3番-1大阪駅前第一ビル10階 9階 キャリアカレッジ天王寺駅前校 <ul style="list-style-type: none"> ・大阪市阿倍野区旭町1丁目2-7号 あべのメディックス4階
⑧実習施設	1 実施しない 2 実施する（実習施設一覧表（別添2-7）を参照。）
⑨講師の氏名及び担当科目	講師一覧表（別添2-3）を参照。
⑩使用テキスト	中央法規出版 介護職員初任者研修テキスト 全2巻
⑪シラバス	シラバス（別添2-2）を参照。
⑫受講資格	管轄の公共職業安定所の所長から受講指示を受けられるもので将来も介護職員をして従事しようとする者。 社会人としての常識を持っており心身ともに健康である妊娠していない者。
⑬広告の方法	ホームページ・ハローワークに広報
⑭情報開示の方法	下記ホームページにおいて情報開示する。 ホームページアドレス： https://www.career-college.school/about/
⑮受講手続き及び本人確認の方法(応募者多数の場合の対応方法を含む)・定員	「求職者支援訓練」対象者の認定を受けた者が、公共職業安定所にある「受講申込書」に必要事項を記載の上、下記に郵送または持参にて申込をする。 本人確認書類の提出（住民票の写し、運転免許証、健康保険証の写し） ・定員：25名
⑯受講料及び受講料支払方法	5,000円（テキスト代、消費税含む） 支払方法は現金で入校時に教材と引き換え。
⑰解約条件及び返金の有無	本人からの希望により解約する。解約費用は無料。 管轄ハローワークも申し出て当校にも連絡。

⑱ 受講者の個人情報の取扱	個人情報保護規程策定の有無 (有) 無) 受講者から取得した個人情報については、第三者が個人情報にふれることのないように、適切な管理体制のもとに保管します。 なお、修了者は大阪府の管理する修了者名簿に記載される。
⑲ 研修修了の認定方法	認定方法：修了を認定した者には修了証明書を交付する。 研修の修了年限：2 カ月 修了評価方法：(別添 2 - 9) を参照。
⑳ 補講の方法及び取扱	面接授業欠席の際の補講の方法： 個別対応で実施する。座学におけるレポート課題の補講は添削料金無料、実技における欠席の場合、法定補講料金 1 時間 2,000 円 (税込) を徴収して実施。
㉑ 科目免除の取扱	介護等の実務経験者には、大阪府の規定に従って科目免除を行う。ただし、受講料の割引は行わない。
㉒ 受講中の事故等についての対応	受講中の事故については傷害保険に加入
㉓ 研修責任者名、所属名及び役職	氏名：平良 正仁 所属名：教育事業部 役職：代表取締役
㉔ 課程編成責任者名、所属名及び役職	氏名：平良 正仁 所属名：教育事業部 役職：代表取締役
㉕ 苦情等相談担当者名、所属名、役職及び連絡先	氏名：清水 亮 所属名：教育事業部 役職：営業課長 連絡先：TEL：06-6455-5557 FAX：06-6455-5565
㉖ 研修事務担当者名、所属名及び連絡先	・キャリアカレッジ大阪駅前校 係長 中西元子：06-6455-5557 ・キャリアカレッジ天王寺駅前校 主任 林 稔子：06-4393-8468
㉗ 情報開示責任者名、所属名、役職及び連絡先	氏名：平良 正仁 所属名：教育事業部 役職：代表取締役 連絡先：TEL：06-6455-5557 FAX：06-6455-5565
㉘ 修了証書を亡失・き損した場合の取扱い	「養成研修修了証明書等の亡失・き損時の取り扱いに関する要領」に基づき証明書を交付する。 ・証明書交付に係る費用：3,000 円 (税込)
㉙ その他必要な事項	

※1 大阪府からのお知らせ	大阪府介護職員初任者研修事業実施要領第 2 の 2 (1) より抜粋 【内容及び手続きの説明及び同意】 事業者は、受講の受付に際し、受講希望者に対し受講するため
---------------	--

	に必要な費用等を明記した学則の内容及び研修を受講する上での重要な事項等を記載した書面等を配布するとともに、その説明を行い、かつ、あらかじめ受講希望者の同意を得なければならない。
※2 研修事業者の指定担当	大阪府 福祉部 地域福祉推進室 福祉人材・法人指導課 人材確保グループ 電話：06-6944-9165

(別添2-2)

シラバス

指定番号 29
 商号又は名称：株式会社プレースメント

科目番号・科目名	(1) 職務の理解			
指導目標	研修に先立ち、これからの介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について、介護職がどのような環境で、どのような形で、どのような仕事を行うのか、具体的なイメージを持って実感し、以降の研修に実践的に取り組めるようになる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	《講義内容》・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 多様なサービスと理解	2	2		《講義内容》 研修課程全体（130時間）の構成と各研修科目（10時間）相互の関連性の全体像をあらかじめイメージできるようにし、学習内容を体系的に整理して知識を効率・効果的に学習できるような素地の形成を促す。 ・介護保険サービス（居宅、施設） ・介護保険外サービス
② 介護職の仕事内容や働く現場の理解	4	4		《講義内容》 介護職が働く現場や仕事の内容を出来るかぎり具体的に理解させる。 ・居宅、施設の多様な働く現場におけるそれぞれの仕事内容 ・居宅、施設の実際のサービス提供現場の具体的なイメージ 演習内容 「介護職の仕事について、班体制を用いてケアプランの位置づけに始まるサービスの提供に至るまでの一連の業務の流れとアプローチ・他職種、介護保険外サービスを含めた地域の社会資源の連携についてのグループディスカッションを行う。
(合計時間数)	6	6		

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

(別添2-2)

シラバス

指定番号 29

商号又は名称：株式会社プレースメント

科目番号・科目名	(2) 介護における尊厳の保持・自立支援			
指導目標	介護職が、利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職である事を自覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するためにあたっての基本的視点及びやってはいけない行動例を理解している。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学 習 時間数	うち 通信学習 時間数	《講義内容》・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 人権と尊厳を支える介護	4	4		<p>《講義内容》</p> <p>利用者の尊厳を著しく傷つける言動とその理由について考えさせ、尊厳という概念に対する気づきを促す。</p> <p>(1) 人権と尊厳の保持についてのグループディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人としての尊重・アドボカシー・エンパワメントの視点 ・役割の実感・尊厳のある暮らし・利用者のプライバシー <p>(2) ICF</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護分野におけるICF <p>(3) QOL</p> <ul style="list-style-type: none"> ・QOLの考え方・生活の質 <p>(4) ノーマライゼーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノーマライゼーションの考え方 <p>(5) 虐待防止・身体拘束禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束禁止・高齢者虐待防止法・高齢者の養護者支援 <p>(6) 個人の権利を守る制度の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護法・成年後見制度・日常生活自立支援事業 <p>「尊厳とは」中央法規出版発行 DVD 教材視聴</p>
③ 自立に向けた介護	3	3		<p>《講義内容》</p> <p>具体的な事例を複数示し、利用者およびその家族の要望にそのまま応える事と、自立支援・介護予防という考え方に基づいたケアを行うことの違い、自立という概念に対する気づきを促す。</p> <p>(1) 自立支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立、自立支援・残在能力の活用・動機の欲求・意欲を高める支援・個別性、個別ケア・重度化防止 <p>(2) 介護予防</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防の考え方 <p>「自立支援とは」中央法規出版発行 DVD 教材視聴</p>
④ 人権啓発に係る基礎知識	2	2		<p>《講義内容》</p> <p>虐待を受けている高齢者への対応方法についての指導を行い、高齢者虐待に対する理解を促す。</p> <p>大阪府人権白書「ゆまにてなにわ」を用いて、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権について ・人権への取り組み ・身近な人権のことについて理解を促す。
(合計時間数)	9	9		

使用する機器・備品等	中央法規出版発行 DVD 教材、大阪府人権白書「ゆまにてなにわ」
------------	----------------------------------

(別添2-2)

シラバス

指定番号 29

商号又は名称：株式会社プレースメント

科目番号・科目名	(3) 介護の基本			
指導目標	介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策のうち重要なものを理解する。介護を必要としている人の個別性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援を捉える事ができる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学 習 時間数	うち 通信学習 時間数	《講義内容》・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護職の役割、専門性と多職種との連携	2	2		<p>《講義内容》</p> <p>介護の目指す基本的なものは何かを概説でき、家族による介護と専門職による介護の違い、介護の専門性について列挙できる。介護職としての共通な役割とサービスごとの特性、医療・看護との連携の必要性について列挙できる。</p> <p>(1) 介護環境の特徴の理解 ・訪問介護と訪問介護サービスの違い ・地域包括ケアの方向性</p> <p>(2) 介護の専門性についてのグループディスカッション ・重度化防止、遅延化の視点 ・利用者主体の支援体制 ・自立した生活を支える為の援助 ・根拠のある介護 ・チームケアの重要性 ・事業所内のチーム ・多職種から成るチーム</p> <p>(3) 介護に関する職種 ・異なる専門性を持つ多職種の理解 ・介護支援専門員 ・サービス提供責任者・看護師等となり利用者を支える意味 ・互いの専門職能力を活用した効果的なサービスの意味 「介護の専門性とは」「介護の多様性への理解を深める」中央法規出版発行 DVD教材視聴</p>
② 介護職の職業倫理	1	1		<p>《講義内容》</p> <p>介護職の職業倫理の重要性を理解し、介護職が利用者や家族等と関わる際の留意点について、ポイントを列挙できる。</p> <p>・専門職の倫理の意義 ・介護の倫理（介護福祉士の倫理と介護福祉士制度等） ・介護職としての社会的責任 ・プライバシーの保護、尊重</p> <p>《演習実施方法》 事例検討によるグループワークを行う。</p>
③ 介護における安全の確保とリスクマネジメント	2	2		<p>《講義内容》</p> <p>介護におけるリスクに気づき、緊急対応の重要性を理解するとともに、場合によってはそれに1人で対応しようとせず、サービス提供責任者や医療職と連携することが重要であると実感できるように促す。</p> <p>(1) 介護における安全の確保 ・事故に結び付く要因を探り対応していく技術 ・リスクとハザード</p> <p>(2) 事故予防、安全対策</p>

			<ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジメント ・分析の手法と視点 ・事故に至った経緯の報告（家族への報告、市長への報告） ・情報の共有 「介護の専プロになる」中央法規出版発行 DVD 教材視聴 （3）感染対策 ・感染の原因と経路（感染源の排除、感染経路の遮断） ・感染に対する正しい知識 <p>《演習実施方法》 「リスクマネジメント」について、グループディスカッションを行う。</p>
⑤ 介護職の安全	1	1	<p>《講義内容》 介護職におこりやすい健康障害や受けやすいストレス、またそれらに対する健康管理、ストレスマネジメントのあり方、留意点を列挙できる。</p> <p>介護職の心身の健康管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護職の健康管理が介護の質に影響・ストレスマネジメント ・腰痛の予防に関する知識 ・手洗い、うがいの励行 ・手洗いの基本 ・感染症対策 <p>《演習実施方法》 手洗いの基本、消毒などの感染症対策や腰痛予防体操やボディメカニクスについて、講師の指導のもと、受講者が実際に行う。</p>
(合計時間数)	6	6	

使用する機器・備品等	中央法規出版発行 DVD 教材
------------	-----------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

(別添2-2)

シラバス

指定番号 29

商号又は名称：株式会社プレースメント

科目番号・科目名	(4) 介護・福祉サービスの理解と医療との連携			
指導目標	介護保険制度や障がい者総合支援制度を担う一員として最低限知っておくべき制度の目的、サービス利用の流れ、各専門職の役割・責務について、その概要のポイントを列挙できる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	《講義内容》・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護保険制度	3	3		<p>《講義内容》</p> <p>生活全体の支援の中で介護保険制度の位置づけを理解し、各サービスや地域支援の役割について列挙できる。介護保険制度や障がい者総合支援制度の概念、介護保険制度の財源構成と保険料負担の大枠について列挙できる。ケアマネジメントの意義について概説でき、代表的なサービスの種類と内容、利用の流れについて列挙できる。</p> <p>(1) 介護保険制度創設の背景及び目的、動向 ・ケアマネジメント ・予防重視型システムへの転換 ・地域包括支援センター ・地域包括ケアシステムの推進</p> <p>(2) 仕組みの基礎的理解 ・保険制度としての基本的仕組み ・介護給付と種類 ・予防給付 ・要介護認定の手順</p> <p>(3) 制度を支える財源、組織、団体の機能と役割 ・財政負担 ・指定介護サービス事業者の指定</p>
② 医療との連携とリハビリテーション	3	3		<p>《講義内容》</p> <p>医行為の考え方、一定の要件のもとに介護福祉士等が行う医行為などについて列挙できる。</p> <p>・医行為と介護 ・訪問介護 ・施設における看護と介護の役割、連携 ・リハビリテーションの理念</p> <p>《演習実施方法》</p> <p>体温や脈拍の測定などのバイタルチェックを、実際に行う。</p>
③ 障がい者総合支援制度およびその他制度	3	3		<p>《講義内容》</p> <p>高齢障害者の生活を支える為の基本的な考え方を理解し、代表的な障害者福祉サービス、権利擁護や成年後見の制度の目的、内容について列挙できる。</p> <p>(1) 障がい者福祉制度の理念 ・障がいの概念 ・ICF (国際生活機能分類)</p> <p>(2) 障がい者総合支援制度の仕組みの基礎的理解 ・介護給付 ～訓練等給付の申請から支給決定まで</p> <p>(3) 個人の権利を守る制度の概要についてのグループディスカッション ・個人情報保護 ・成年後見制度 ・日常生活自立支援事業</p>
(合計時間数)	9	9		

使用する機器・備品等	
------------	--

(別添2-2)

シラバス

指定番号 29

商号又は名称：株式会社プレースメント

科目番号・科目名	(5) 介護におけるコミュニケーション技術		
指導目標	高齢者や障がい者のコミュニケーション能力は1人ひとり異なることと、その違いを認識してコミュニケーションを取ることが専門職に求められていることを認識し、初任者として最低限の取るべき（取るべきでない）行動例を理解する。		
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学 習 時間数	うち 通信学習 時間数
① 介護におけるコミュニケーション	4	4	
② 介護におけるチームのコミュニケーション	2	2	
(合計時間数)	6	6	

使用する機器・備品等	
------------	--

《講義内容》・演習の実施方法・通信学習課題の概要等
(別紙でも可)

《講義内容》
 利用者の心理や利用者との人間関係を著しく傷つけるコミュニケーションとその理由について考えさせ、相手の心身機能に合わせた配慮が必要であることの気づきを促す。
 (1) 介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割
 ・相手のコミュニケーション能力に対する理解や配慮
 ・傾聴 ・共感の応答
 (2) コミュニケーションの技法、道具を用いた言語的コミュニケーションについてのグループディスカッション
 ・言語的コミュニケーションの特徴
 ・非言語コミュニケーションの特徴
 (3) 利用者・家族とのコミュニケーションの実際
 ・利用者の思いを把握する ・意欲低下の要因を考える
 ・利用者の感情に共感する ・家族の心理的理解
 ・家族へのいたわりと励まし ・信頼関係の形成
 ・自分の価値観で家族の意向を判断し非難することがないようにする・アセスメントの手法とニーズとデマンドの違い
 (4) 利用者の状況、状況に応じたコミュニケーション技術の実際
 ・視力、聴力の障がいに応じたコミュニケーション技術
 ・失語症に応じたコミュニケーション技術
 ・構音障がいに応じたコミュニケーション技術
 ・認知症に応じたコミュニケーション技術

《演習実施方法》
 受講者を班に分け、講師の指導のもと、介護職・利用者・家族のコミュニケーションのロールプレイング、個別援助計画の作成を行う。

《講義内容》
 チームケアにおける専門職間でのコミュニケーションの有効性、重要性を理解するとともに、記録等を作成する介護職1人ひとりの理解が必要であることへの気づきを促す。
 (1) 記録における情報の共有化
 ・介護における記録の意義、目的、利用者の状態を踏まえた観察と記録
 ・介護に関する記録の種類 ・個別援助計画書（訪問、通所、入所、福祉用具貸与）・ヒヤリハット報告書 ・5W1H
 (2) 報告
 ・報告の留意点 ・連絡の留意点 ・相談の留意点
 (3) コミュニケーションを促す環境
 ・会議 ・情報共有の場 ・役割の認識の場（利用者と頻回に接触する介護者に求められる観察眼）
 ・ケアカンファレンスの重要性

《演習実施方法》
 受講者を班に分け、講師の指導のもと、業務上のコミュニケーションのロールプレイング

(別添2-2)

シラバス

指定番号 29

商号又は名称：株式会社プレースメント

科目番号・科目名	(6) 老化の理解			
指導目標	加齢・老齢化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項を理解している。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学 習 時間数	うち 通信学習 時間数	《講義内容》・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 老化に伴うところとからだの変化と日常	3	3		<p>《講義内容》</p> <p>加齢、老齢化に伴う生理的な変化や心身の変化、社会面、身体面、精神面、知的能力面などの変化に着目した心理的特徴について列挙できる。</p> <p>(1) 老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防衛反応(反射)の変化 ・喪失体験についてのケーススタディ <p>(2) 老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体的機能の変化と日常生活への影響 ・咀嚼機能の低下 ・筋、骨、関節の変化 ・体温維持機能の変化 ・精神的機能の変化と日常生活への影響
② 高齢者と健康	3	3		<p>《講義内容》</p> <p>高齢者に多い疾病の種類と、その症状や特徴および治療、生活上の留意点、及び高齢者の疾病による症状や訴えについて列挙できる。</p> <p>(1) 高齢者の疾病と生活上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・骨折 ・筋力の低下と動き、姿勢の変化 ・関節痛 <p>(2) 高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・循環器障がい(脳梗塞、脳出血、虚血性心疾患) ・循環器障がいの危険因子と対策 ・老年期うつ症状(強い不安感、焦燥感を背景に「訴え」の多さが全面に出る、うつ病性仮性認知症) ・症状の小さな変化に気づく視点 ・高齢者は感染症にかかりやすい
(合計時間数)	6	6		

使用する機器・備品等	
------------	--

(別添2-2)

シラバス

指定番号 29

商号又は名称：株式会社プレースメント

科目番号・科目名		(7) 認知症の理解		
指導目標		介護において認知症を理解することの必要性気づき、認知症の利用者を介護する時の判断の基準となる原則を理解する。		
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学 習 時間数	うち 通信学習 時間数	《講義内容》・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 認知症を取り巻く状況	2	2		<p>《講義内容》 認知症ケアの理念や利用者中心というケアの考え方について概説できる。健康な高齢者の「物忘れ」と、認知症による記憶障害の違いについて列挙できる。</p> <p>・パーソンセンタードケア ・認知症ケアの視点（できる事に着目する）</p>
② 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	1	1		<p>《講義内容》 認知症の中核症状と行動・心理症状（BPSD）等の基本的特性、及びそれに影響する要因を列挙できる。認知症の利用者の健康管理の重要性と留意点、廃用症候群予防について概説できる。 認知症の概念、認知症の原因疾患とその病態、原因疾患別ケアのポイント、健康管理 ・認知症の定義 ・物忘れとの違い ・せん妄の症状 ・健康管理（脱水・便秘・低栄養・低運動の防止・口腔ケア） ・治療 ・薬物療法 ・認知症に使用される薬</p> <p>《演習実施方法》 認知症の原因、症状、対応をグループワークを行う。</p>
③ 認知症に伴うこととからだの変化と日常生活	2	2		<p>《講義内容》 認知症の心理・行動のポイント、認知症の利用者への対応、コミュニケーションの取り方、および介護の原則について列挙できる。また、同様に若年性認知症の特徴についても列挙できる。認知症の利用者の生活環境の意義やそのあり方について、主要なキーワードを列挙できる。認知症の利用者とのコミュニケーション（言語、非言語）の原則、ポイントについて理解でき、具体的な関わり方（良い関わり方、悪い関わり方）を概説できる。</p> <p>(1) 認知症の人の生活障がい、心理・行動の特徴 ・認知症の中核症状 ・認知症の行動・心理症状（BPSD） ・不適切なケア ・生活環境で改善</p> <p>《演習実施方法》 グループディスカッションによるロールプレイング</p>
④ 家族への支援	1	1		<p>《講義内容》 家族の気持ちや、家族が受けやすいストレスについて列挙できる。 ・認知症の受容過程での援助 ・介護負担の軽減（レスパイトケア）</p>
(合計時間数)	6	6		

使用する機器・備品等	
------------	--

(別添2-2)

シラバス

指定番号 29

商号又は名称：株式会社プレースメント

科目番号・科目名	(8) 障がいの理解			
指導目標	障がいの概念とICF、障がい者福祉の基本的考え方について理解し、介護における基本的な考え方について理解している。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学 習 時間数	うち 通信学習 時間数	《講義内容》・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 障がいの基礎的理解	1	1		《講義内容》 介護において障がいの概念とICFを理解しておくことの必要性の理解を促す。 (1) 障がいの概念とICF ・ICFの分類と医学的分類 ・ICFの考え方 (2) 障がい者福祉の基本理念 ・ノーマライゼーション
② 障がいの医学的側面、生活障がい、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	1	1		《講義内容》 各障害の内容・特徴・及び障がいに応じた社会支援の考え方について列挙できる。 (1) 身体障がい ・視覚障がい・聴覚、平衡障がい・音声、言語、咀嚼障がい ・内部障害 (2) 知的障がい ・知的障がい (3) 精神障がい(高次脳機能障がい、発達障がいを含む) ・統合失調症、気分(感情障がい)、依存症などの精神疾患 ・広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がいなどの発達障がい (4) その他の心理の機能障がい 《演習実施方法》 障がいのある人の参加制約と公的サービス
③ 家族の心理、かかわり支援の理解	1	1		《講義内容》 障がいの受容のプロセスと基本的な介護の考え方について列挙できる。 ・障がいの理解、障がいの受容支援 ・介護負担の軽減
(合計時間数)	3	3		

使用する機器・備品等	
------------	--

(別添2-2)

シラバス

指定番号 29

商号又は名称：株式会社プレースメント

科目番号・科目名	(9) こころとからだのしくみと生活支援技術			
指導目標	介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できる。尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学 習 時間数	うち 通信学習 時間数	《講義内容》・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護の基本的な考え方	5	5		<p>《講義内容》 主だった状態像の高齢者の生活の様子をイメージでき、要介護度等に応じた在宅・施設等それぞれの場面における高齢者の生活について列挙できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倫理に基づく介護（ICFの視点に基づく生活支援、我流介護の排除） ・法的根拠に基づく介護 <p>「生活援助の方法」中央法規出版発行 DVD教材視聴</p>
② 介護に関するこころのしくみの基礎的理解	3	3		<p>《講義内容》 人の記憶の構造や意欲等を支援と結びつけて概説できる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習と記憶の基礎知識 ・感情と意欲の基礎知識 ・自己概念と生きがい ・老化や障がいを受け入れる適応行動とその阻害要因 ・こころの持ち方が行動に与える影響 ・からだの状態がこころに与える影響 <p>「生活援助の方法」中央法規出版発行 DVD教材視聴</p>
③ 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	4	4		<p>《講義内容》 人体の構造や機能が列挙でき、何故行動が起こるのかを概説できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人体の各部の名称と動きに関する基礎知識 ・骨、関節、筋に関する基礎知識、ボディメカニクスの活用 ・中枢神経系と体性神経に関する基礎知識 ・自律神経と内部器官に関する基礎知識 ・こころとからだを一体的に捉える ・利用者の様子の普段との違いに気づく視点 <p>「生活援助の方法」中央法規出版発行 DVD教材視聴</p>
④ 生活と家事	8	8		<p>《講義内容》 家事援助の機能と基本的原則について列挙できる。</p> <p>家事と生活の理解、家事援助に関する基礎的知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活歴 ・自立支援 ・予防的な対応 ・主体性、能動性を引き出す ・多様な生活習慣 ・価値観 <p>《演習実施方法》 ベッドメイキングを行う。</p>

⑤ 快適な居住環境整備と介護	7	7	<p>《講義内容》 快適な居住空間に関する基礎知識、高齢者・障がい者特有の居住環境整備と福祉用具に関する留意点と支援方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭内に多い事故 ・バリアフリー ・住宅改修 ・福祉用具貸与 <p>《演習実施方法》 福祉用具を活用し利用の仕方を実践 「生活援助の方法」中央法規出版発行 DVD教材視聴</p>
⑥ 整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	8	8	<p>《講義内容》 装うことや整容の意義について解説でき、指示や根拠に基づいて部分的な介護を行うことができる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体状況に合わせた衣服の選択、着脱 ・身支度 ・整容行動 ・洗面の意義、効果 <p>《演習実施方法》 グループに分かれ、講師の指導のもと、整容のうちの衣服着脱口腔ケアと観察、口腔リハビリテーション事例などのロールプレイングを行う。 「生活援助の方法」中央法規出版発行 DVD教材視聴</p>
⑦ 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	8	8	<p>《講義内容》 体位交換と移動・移乗の意味と関連する用具・器機やさまざまな車いす、杖などの基本的使用方法を概説でき、体位変換と移動・移乗に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。</p> <p>移動、移乗に関する基礎知識、さまざまな移動・移乗に関する用具とその活用方法、利用者、介助者にとっての負担の少ない移動・移乗を阻害することからだの要因の理解と支援方法、移動と社会参加の留意点と支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者と介助者の双方が安全で安楽な方法 ・利用者の自然な動きの活用 ・残在能力の活用、自立支援 ・重心、重力の働きの理解 ・ボディメカニクスの基本原理 ・移乗介護の具体的な方法（車いすへの移乗の具体的な方法、全面介助でのベッドと車いす間の移乗、全面介助での車いす、様式トイレ間の移乗） ・移動介助（車いす・歩行器・つえ等） <p>《演習実施方法》 安楽な体位の保持技術、体位変換、車いすの介助、歩行介助（肢体不自由者、視覚障がい）、移乗をおこなう。 「生活援助の方法」中央法規出版発行 DVD教材視聴</p>
⑧ 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	10	10	<p>《講義内容》 食事の意味と食事を取り巻く環境整備の方法が列挙でき、食事に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。</p> <p>食事に関する基礎知識、食事環境の整備・食事に関連した用具・食器の活用方法と食事形態とからだのしくみ、楽しい食事を阻害することからだの要因の理解と支援方法、食事と社会参加の留意点と支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事をする意味 ・食事のケアに対する介護職の意識 ・低栄養の弊害 ・脱水の弊害 ・食事と姿勢 ・咀嚼のメカニズム ・空腹感 ・満腹感 ・好み ・食事の環境整備（時間・場所等） ・食事に関した福祉用具の活用と介助方法 ・口腔ケアの定義 <p>《演習実施方法》 グループに分かれ、食事介助（片麻痺、視覚障がい）などのロールプレイングを行う。 「生活援助の方法」中央法規出版発行 DVD教材視聴</p>

<p>⑨ 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	4	4	<p>《講義内容》 入浴や清潔の意味と入浴を取り巻く環境整備や入浴に関連した用具を列挙でき、排泄に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。</p> <p>入浴、清潔保持に関連した基礎知識、さまざまな入浴用具と整容用具の活用方法、楽しい入浴を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・羞恥心や遠慮への配慮 ・体調の確認 ・全身清拭（身体状況の確認、室内用環境の調整、使用物品の準備と使用方法、全身の拭き方、身体の支え方） ・目、鼻腔、耳、爪の清潔方法 ・陰部清浄（臨床状態での方法） ・足浴、手浴、洗髪 <p>《演習実施方法》 グループに分かれ入浴介助（全身清拭、陰部洗浄、ケリーパッドを利用した洗髪、目・鼻腔・耳・爪の清潔、足浴、手浴など）のロールプレイングを行う。 「生活援助の方法」中央法規出版発行 DVD 教材視聴</p>
<p>⑩ 排泄に関連したところとからだのしくみ自立に向けた介護</p>	5	5	<p>《講義内容》 排泄の意味と排泄を取り巻く環境整備や関連した用具を列挙でき、入浴に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。</p> <p>排泄に関する基礎知識、さまざまな排泄環境整備と排泄用具の活用方法、爽快な排泄を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排泄とは ・身体的（生理面）での意味 ・心理面での意味 ・社会的な意味 ・プライド、羞恥心 ・プライバシーの確保 ・おむつは最後の手段、おむつの弊害 ・排泄障がい日常生活上に及ぼす影響 ・排泄ケアを受けることで生じる心理的な負担、尊厳や生きる意欲との関連 ・一部介助を要する利用者のトイレ介助の具体的方法 ・便秘の予防（水分の摂取量保持、食事内容の工夫、繊維質の食事を多く取り入れる、腹部マッサージ） <p>《演習実施方法》 グループに分かれポータブルトイレ、片まひのトイレ介助、尿器を利用した排泄介助、布オムツ交換、紙おむつの交換の排泄介助などのロールプレイングを行う。 「生活援助の方法」中央法規出版発行 DVD 教材視聴</p>
<p>⑪ 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</p>	7	7	<p>《講義内容》 睡眠の意味と睡眠を取り巻く環境整備や関連した用具を列挙でき、睡眠に関するからだのしくみが理解され、指示に基づいて介助を行うことができる。</p> <p>睡眠に関する基礎知識、さまざまな睡眠環境と用具の活用方法、快い睡眠を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安眠のための介護の工夫 ・環境の整備（温度や湿度、光、音、よく眠るための寝室） ・安楽な姿勢 <p>《演習実施方法》 グループに分かれ体位・姿勢交換などのロールプレイングを行う。 「生活援助の方法」中央法規出版発行 DVD 教材視聴</p>

⑫ 死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	7	7	<p>《講義内容》 ターミナルケアの考え方、対応のしかた・留意点、本人・家族への説明と了解、介護職の役割や他の職種との連携（ボランティアを含む）について、列挙できる。</p> <p>終末期に関する基礎知識とところとからだのしくみ、生から死への過程、「死」に向き合うこころの理解、苦痛の少ない死への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・終末期ケアとは ・高齢者の死に至る過程（高齢者の自然死（老衰） 癌死 ・臨終が近づいたときの兆候と介護 ・介護従業者の基本的態度 ・他職種間の情報共有の必要性 <p>《演習実施方法》 グループに分かれ、誤嚥を防ぐための介助などのロールプレイングや、終末期の心理・介護に関する考え方などのディスカッションを行う。 「生活援助の方法」中央法規出版発行 DVD 教材視聴</p>
⑬ 介護過程の基礎的理解	5	5	<p>《講義内容》 要介護度や健康状態の変化に沿った基本的な介護技術の原則（方法、留意点、その他の根拠）について概説でき、生活の中の介護予防、および介護予防プログラムによる機能低下の予防の考え方や方法を列挙できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護過程の目的、意義、展開 <p>《演習実施方法》 介護過程とチームアプローチについてのグループディスカッションをおこなう。 「生活援助の方法」中央法規出版発行 DVD 教材視聴</p>
⑭ 総合生活支援技術演習	7	7	<p>《講義内容》 利用者の身体状況に合わせた介護、環境整備についてポイントを列挙できる。</p> <p>生活の各場面での介護については、ある状態像の利用者を想定し、一連の生活支援を提供する流れの理解と技術の習得、利用者の心身の状況に合わせた介護を提供する視点の習得を目指す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例の提示→ところとからだの力が発揮できない要因の分析→適切な支援技術の検討→支援技術演習→支援技術の課題（1事例 1.5時間程度で上のサービスを実施する） ・事例は「高齢分野」（要支援2程度、認知症、片麻痺、座位保持不可）から2事例を選択して実施。 <p>《演習実施方法》 事例で要支援2程度、認知症、片麻痺、座位保持不可）から2事例を選択して実施。 「生活援助の方法」中央法規出版発行 DVD 教材視聴</p>
(合計時間数)	88	88	

使用する機器・備品等	中央法規出版発行 DVD 教材 介護用ベッド 車いす 歩行補助杖 ポータブルトイレ 簡易浴槽
------------	---

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

(別添2-2)

シラバス

指定番号 29

商号又は名称：株式会社プレースメント

科目番号・科目名	(10) 振り返り			
指導目標	研修全体を振り返り、本研修を通じて学んだことについて再確認を行うとともに、就業後も継続して学習する姿勢の形成・学習課題の認識			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	《講義内容》・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 振り返り	2	2		《講義内容》 研修を通じて学んだこと、今後継続して学ぶべきことを演習等で受講者自身に表出・言語化させたうえで、利用者の生活を支援する根拠に基づく介護の要点について講義等により再確認する。 ・研修を通して学んだこと ・今後継続して学ぶこと ・根拠に基づく介護についての要点 《演習実施方法》 グループにより振り返り法ワークを実施
② 就業への備えと研修修了後における事例	2	2		修了後も継続的に学習する事を前提に、介護職が身につけるべき知識や技術の体系を再掲する。 《演習実施方法》 現場で働いている外部講師、人事担当者などを招へいし職業人講話を行う。
(合計時間数)	4	4		

使用する機器・備品等	
------------	--

修了評価の方法

評価基準作成者：平良 正仁

評価方法及び合格基準	<p>1 出題範囲 「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」から 「(9) ところとからだのしくみと生活技術」までとする</p> <p>2 出題形式 四肢択一形式及び記述形式とする</p> <p>3 出題数 ① 択一問題・記述問題 計 19 問 ② 択一問題・記述問題 計 20 問 全問正解 ① 100 点 (問題 19 問中、問題 5 (3 点)、問題 2・13・17・18 : 各 2 点(計 32 点)、 それ以外各 1 点(計 65 点) 以上で 100 点 ② 100 点 (問題 20 問中、問題 1・4・6・8・10・14・20 : 各 5 点 (計 35 点)、問題 3・9・11・12・13 : 各 2 点(計 26 点)それ以外各 1 点 (計 39 点)) 以上で 100 点</p> <p>4 合否判定基準 正答率 6 割以上</p> <p>5 不合格になったときの取扱い ・ 結果発表後、ただちに 2 時間の補習のうえ再試験による再評価を行う なお、再評価に係る合格基準点は 60 点以上とする ・ 補習料 : 1 時間あたり 1,500 円 再評価料 1,500 円</p>
------------	--

令和3年度・令和4年度に実施した(初任者研修)における受講及び就職状況

機関(法人)名: 株式会社プレースメント

年度	訓練科名	訓練期間	受講生数	中退者	うち中退	修了者	うち修了	就職率 平均値 (自動計算)
					就職者数 (ア)		就職者数 (ウ)	
令和3年度	介護事務+同行援護(一般課程)+介護職員初任者研修養成科(3か月)	令和3年7月1日 ~ 令和3年9月30日	15	1	1	14	11	80.0
	介護職員・事務員養成総合福祉科	令和3年7月26日 ~ 令和3年10月25日	12	3	0	9	8	88.9
	介護職員・事務員養成総合福祉科	令和3年9月27日 ~ 令和3年12月24日	5	0	0	5	4	80.0
	介護事務+同行援護(一般課程)+介護職員初任者養成研修科	令和3年10月1日 ~ 令和3年12月28日	11	1	1	10	9	90.9
合計数			43	5	2	38	32	85.0
年度	訓練科名	訓練期間	訓練生数	中退者	うち中退	修了者	うち修了	就職率
					就職者数 (ア)	(イ)	就職者数 (ウ)	平均値 (自動計算)
令和4年度	介護職員初任者研修・総合福祉科	令和4年5月25日 ~ 令和4年8月24日	11	2	1	8	8	100.0
	介護職員初任者研修・総合福祉科	令和4年6月27日 ~ 令和4年9月26日	14	1	0	13	12	92.3
	介護職員初任者研修・総合福祉科	令和4年7月25日 ~ 令和4年10月24日	14	1	0	13	11	84.6
	介護職員初任者研修・総合福祉科	令和4年9月26日 ~ 令和4年12月23日	23	3	0	20	18	90.0
	介護職員初任者養成研修科(2か月)	令和4年10月1日 ~ 令和4年11月30日	12	0	0	12	9	75.0
	介護職員初任者研修・総合福祉科	令和4年10月25日 ~ 令和5年1月24日	19	3	0	16	13	81.3
	介護職員初任者養成研修科(2か月)	令和4年12月1日 ~ 令和5年1月31日	14	5	0	9	8	88.9
	介護職員初任者研修・総合福祉科	令和4年12月26日 ~ 令和5年3月25日	21	3	0	18	13	72.2
	介護職員初任者研修・総合福祉科	令和5年2月27日 ~ 令和5年5月26日	22	1	0	21	17	81.0
	介護職員初任者研修・総合福祉科	令和5年3月27日 ~ 令和5年6月26日	15	2	0	13	9	69.2
合計数			165	21	1	143	118	82.6

講師一覧表

講師氏名	担当 科目番号、科目名/項目番号、項目名	資格(取得年月)	修了評価 担当の有無		
		略歴(経験年数)			
		現在の職業(経験年数)			
東 早紀	(1) 職務の理解/全項目 (2) 介護における尊厳の保持・自立支援(人権啓発の基礎知識を除く) (3) 介護の基本、/全項目 (4) 介護・福祉サービスの理解と医療との連携/全項目 (5) 介護におけるコミュニケーション技術/全項目 (6) 老化の理解/全項目 (7) 認知症の理解/全項目 (9) こころとからだのしくみと生活支援技術/全項目 (10) 振り返り/全項目	介護福祉士(H14/3)	有		
		多根第二病院 ・介護職員(6年9か月)			
		株式会社プレースメント ・介護福祉士実務者研修講師 (3年8ヶ月)			
		介護福祉士(H21/4) 実務者研修教員講習修了(H30/1)		有	
		デイサービスセンター ・訪問介護員(11年6か月)			
		デイサービスセンター ・訪問介護員(2年3か月)			
		デイサービスセンター ・訪問介護員・相談員(9か月)			
		株式会社プレースメント ・非常勤講師(4年)			
		社会福祉士(H16/4) 介護支援専門員(H17/4) 介護福祉士(H31/4)			無
		特別養護老人ホーム ・介護職員(1年8か月)			
介護老人保健施設 ・介護職員・支援相談員 (4年8か月)					
特別養護老人ホーム ・ケアマネジャー (10年7か月)					
株式会社プレースメント ・介護福祉士実務者研修講師 (6年4ヶ月)					
介護福祉士(H16/4) 介護福祉士実務者研修教員講習 会修了(H26/2)	有				
障害者総合支援センター ・生活支援員・指導員(5年1か 月)					
ニチイ学館 ・介護職員基礎研修・実務者研 修講師(10年3か月)					
株式会社プレースメント ・介護福祉士実務者研修講師 (8年)					
介護福祉士(H17/4)		無			
アースサポート株式会社 ・訪問介護員・サービス提供責 任者(5年1か月)					
株式会社ケア21 ・訪問介護員(3か月)					
株式会社日本教育クリエイト ・初任者研修・実務者研修講師 (9年6か月)					

	(10)振り返り／全項目	株式会社プレースメント ・実務者研修非常勤講師（5年4ヶ月）	
上田 堯弘（梁川貴弘）	(1) 職務の理解／全項目 (2)介護における尊厳の保持・自立支援（人権啓発の基礎知識を除く） (3)介護の基本、／全項目 (4)介護・福祉サービスの理解と医療との連携／全項目 (5)介護におけるコミュニケーション技術／全項目 (6)老化の理解／全項目 (7)認知症の理解／全項目 (8)障がいの理解／全項目 (10)振り返り／全項目	ホームヘルパー2級（H18/3） 介護福祉士（H22/4） 全身性ガイドヘルパー（H26/1） 同行援護（H26/3） 社会福祉法人旭長寿の森 ・介護職（7年3ヶ月） 社会福祉法人日本ライトハウス ・訪問介護員、同行援護、重度訪問介護、全身性ガイドヘルパー（1年5ヶ月） 株式会社セラム ・初任者研修講師（1年5ヶ月） ラポールユニバーサルサポート合同会社 ・管理責任者、人材研修講師、認知症講習講師（3年9ヶ月） 株式会社プレースメント ・全身性移動支援、同行援護講師（4年） ラポールユニバーサルサポート合同会社 ・重度訪問介護、移動支援、同行援護（2年） 株式会社プレースメント ・全身性移動支援、同行援護講師（4年）	無
増山 浩美	(1) 職務の理解／全項目 (2)介護における尊厳の保持・自立支援（人権啓発の基礎知識を除く） (3)介護の基本、／全項目 (4)介護・福祉サービスの理解と医療との連携／全項目 (5)介護におけるコミュニケーション技術／全項目 (6)老化の理解／全項目 (7)認知症の理解／全項目 (9)こころとからだのしくみと生活支援技術／全項目 (10)振り返り／全項目	介護福祉士（H17/4） 老人保健施設 ・介護職員（3年10か月） 介護福祉施設 ・介護職員・管理者（1年10か月） ケアプランセンター ・介護職員・管理者（10か月） NPO福祉住環境整備センター ・介護職員・管理職（4年3か月） 合同会社HM planning ・代表社員、介護支援専門員、管理職（7年3ヶ月）	有
姥 博美	(2) 介護における尊厳の保持・自立支援（人権啓発の基礎知識を除く） (3) 介護の基本、／全項目 (4)介護・福祉サービスの理解と医療との連携／全項目 (5)介護におけるコミュニケーション技術／全項目 (6)老化の理解／全項目 (7)認知症の理解／全項目 (8)障がいの理解／全項目 (9)こころとからだのしくみと生活支援技術／（快適な居住環境整備と介護を除く）	看護師（H3/5） 医療的ケア教員講習修了（H25/6） 病院訪問看護ステーション ・訪問看護師（4年） 病院訪問看護ステーション ・訪問看護師（9ヶ月） デイサービス ・看護師（9ヶ月） 清恵会医療専門学院 ・老年看護学講師（1年3ヶ月） 株式会社プレースメント ・実務者研修講師（2年10ヶ月）	無
山本 ひとみ	(1) 職務の理解／全項目 (2)介護における尊厳の保持・自立支援（人権啓発の基礎知識を除く） (3)介護の基本、／全項目 (4)介護・福祉サービスの理解と医療との連携／全項目	介護福祉士（H25/6） 介護福祉士実務者研修教員講習会修了（H30/3） 有料老人ホーム ・介護職員（3年11か月）	有

	(5)介護におけるコミュニケーション技術／全項目 (6)老化の理解／全項目 (7)認知症の理解／全項目 (9)こころとからだのしくみと生活支援技術／全項目 (10)振り返り／全項目	訪問介護ステーション ・訪問介護員・ガイドヘルパー (1年4か月) 株式会社プレースメント ・介護福祉士実務者研修講師 (5年3ヶ月)	
笹部 奈緒美	(1) 職務の理解／全項目 (2) 介護における尊厳の保持・自立支援／①②（人権啓発の基礎知識を除く） (3)介護の基本、／全項目 (4)介護・福祉サービスの理解と医療との連携／全項目 (5)介護におけるコミュニケーション技術／全項目 (6)老化の理解／全項目 (7)認知症の理解／全項目 (9)こころとからだのしくみと生活支援技術／全項目 (10)振り返り／全項目	介護福祉士（H20/4） デイサービス ・介護職員（6年3ヶ月） 介護老人福祉施設 ・介護職員/生活相談員（3年5ヶ月） 未来ケアカレッジ ・初任者研修講座講師（2年） 株式会社プレースメント 非常勤講師（2カ月）	有
宮下 泰彦	(2) 介護における尊厳の保持・自立支援（③人権啓発の基礎知識のみ）	大阪弁護士会登録（H20/12） ・弁護士事務所（12年8ヶ月） ・弁護士事務所（12年8ヶ月） ・株式会社プレースメント 初任者研修講師（2年5ヶ月）	無
岡田 和江	(2) 介護における尊厳の保持・自立支援（人権啓発の基礎知識を除く） (3) 介護の基本、／全項目 (4)介護・福祉サービスの理解と医療との連携／全項目 (5)介護におけるコミュニケーション技術／全項目 (6)老化の理解／全項目 (7)認知症の理解／全項目 (8)障がいの理解／全項目 (9)こころとからだのしくみと生活支援技術／（快適な居住環境整備と介護を除く）	准看護師（S63/4）・看護師（H10/4）・専任教員（H28/3） 病院 ・准看護師（6年） 病院 ・看護師（5年2月） 福祉施設 ・看護師（5年3月） 特別養護老人ホーム ・施設看護（1年） 看護専門学校 ・教員（7年） 株式会社プレースメント ・実務者研修講師（3年1ヶ月）	有
渡部 貴司子	(1)職務の理解／全項目 (2)介護における尊厳の保持・自立支援／①②（人権啓発の基礎知識を除く） (3)介護の基本、／全項目 (4)介護・福祉サービスの理解と医療との連携／全項目 (5)介護におけるコミュニケーション技術／全項目 (6)老化の理解／全項目 (7)認知症の理解／全項目 (9)こころとからだのしくみと生活支援技術／全項目 (10)振り返り／全項目	・介護福祉士登録（2011年4月） ・介護福祉士実務者研修教員講習会修了（2018年3月） 介護施設 ・訪問介護員（5年5月） デイサービスセンター ・介護職員、サ責、介護職員指導（2年4月） 病院 ・介護職員、生活支援（3年6月） デイサービス、訪問介護センター ・介護職員、サ責、介護職員指導（4年9月） 一般社団法人リ・ライフ輝 ・介護福祉士実務者研修講師（1年5月）	有
若松 雅子	(6)老化の理解／全項目 (7)認知症の理解／全項目	看護師（平成10年4月） 医療的ケア教員講習会（令和3年3月） 病院 ・看護師（10年7月） 医療センター ・看護師（11年5月） 病院	無

		<ul style="list-style-type: none"> ・看護師（8年0月） 	
		就職支援センター <ul style="list-style-type: none"> ・初任者研修、実務者研修講師（2年7月） 	
堀内 輝美	(1)職務の理解／全項目 (2)介護における尊厳の保持・自立支援／①②（人権啓発の基礎知識を除く） (3)介護の基本、／全項目 (4)介護・福祉サービスの理解と医療との連携／全項目 (5)介護におけるコミュニケーション技術／全項目 (6)老化の理解／全項目 (7)認知症の理解／全項目 (8)障がいの理解／全項目	介護福祉士（令和3年4月） 全身性移動支援従業者養成研修（平成28年4月） 同行援護従業者養成研修（平成29年1月） 介護サービス施設 <ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護員（1年2ヶ月） 介護老人保健施設 <ul style="list-style-type: none"> ・介護職員（5年3ヶ月） 障害者自立支援協会 <ul style="list-style-type: none"> ・ガイドヘルパー、手話通訳（4年6ヶ月） ・訪問介護員、ガイドヘルパー（2年9ヶ月） 合同会社ハッピーエイジ <ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護員、ガイドヘルパー（2年9ヶ月） 株式会社プレースメント <ul style="list-style-type: none"> ・非常勤講師（1年3ヶ月） 	無
加賀 由紀子	(1)職務の理解／全項目 (2)介護における尊厳の保持・自立支援／①②（人権啓発の基礎知識を除く） (3)介護の基本、／全項目 (4)介護・福祉サービスの理解と医療との連携／全項目 (5)介護におけるコミュニケーション技術／全項目 (6)老化の理解／全項目 (7)認知症の理解／全項目 (9)こころとからだのしくみと生活支援技術／全項目 (10)振り返り／全項目	介護福祉士（平成17年4月） 実務者研修教員講習会（平成29年8月） 病院 <ul style="list-style-type: none"> ・介護職員（7年0月） デイサービスセンター <ul style="list-style-type: none"> ・介護職員（3年11月） デイサービスセンター <ul style="list-style-type: none"> ・介護員、相談員（4年2月） 介護学院 <ul style="list-style-type: none"> ・初任者研修講師、実習指導者（5年2月） 株式会社ランゲート <ul style="list-style-type: none"> ・初任者研修、実務者研修講師（5年9月） カイゴジョブアカデミー <ul style="list-style-type: none"> ・初任者研修講師（4年0月） 	
杉山 均	(1)職務の理解／全項目 (2)介護における尊厳の保持・自立支援／①②（人権啓発の基礎知識を除く） (3)介護の基本、／全項目 (4)介護・福祉サービスの理解と医療との連携／全項目 (5)介護におけるコミュニケーション技術／全項目 (6)老化の理解／全項目 (7)認知症の理解／全項目 (9)こころとからだのしくみと生活支援技術／全項目 (10)振り返り／全項目	介護福祉士（平成27年5月） 実務者研修教員講習会（令和2年7月） 社会福祉法人特別養護老人ホーム <ul style="list-style-type: none"> ・介護職（4年10月） 民間介護施設 <ul style="list-style-type: none"> ・介護職（4年6月） 社会福祉法人 嘉誠会 <ul style="list-style-type: none"> ・介護職、ケアマネージャー（2年11月） 	有
田中 朋子	(1)職務の理解／全項目 (2)介護における尊厳の保持・自立支援／①②（人権啓発の基礎知識を除く） (3)介護の基本、／全項目 (4)介護・福祉サービスの理解と医療との連携／全項目 (5)介護におけるコミュニケーション技術／全項目 (6)老化の理解／全項目 (7)認知症の理解／全項目 (9)こころとからだのしくみと生活支援技術／全項目 (10)振り返り／全項目	介護福祉士（平成24年4月） 実務者研修教員講習会（令和3年5月） 特別養護老人ホーム <ul style="list-style-type: none"> ・介護職（2年5月） 訪問介護事業所/病院 <ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護職（2年9月） ケアプランセンター <ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護職/ケアマネージャー（6年0月） 資格取得講座	有

		<ul style="list-style-type: none"> ・初任者研修、実務者研修講師 (1年3月) 	
		株式会社E E 2 1 未来ケアカレッジ <ul style="list-style-type: none"> ・初任者研修、実務者研修講師 (1年8月) 	
宮塚 純子	(1)職務の理解／全項目 (2)介護における尊厳の保持・自立支援／①② (人権啓発の基礎知識を除く) (3)介護の基本、／全項目 (4)介護・福祉サービスの理解と医療との連携／全項目 (5)介護におけるコミュニケーション技術／全項目 (6)老化の理解／全項目 (7)認知症の理解／全項目 (9)こころとからだのしくみと生活支援技術／全項目 (10)振り返り／全項目	介護福祉士 (H13/3月) 介護教員講習会修了 (H28/3月) 社会福祉士 (平成26/3月) 老人保健施設 (7年8月) <ul style="list-style-type: none"> ・介護職員 通所介護事業所 (1年4月) <ul style="list-style-type: none"> ・介護職員、相談業務 通所リハビリテーション (2年1月) <ul style="list-style-type: none"> ・介護職員、相談業務 病院経営研修施設 (10年2月) <ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター講習、実務者研修、初任者研修講師 マックシールドドットコム <ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター講習、実務者研修、初任者研修講師 (10年2月) 	有
早川 幸子	(1)職務の理解／全項目 (2)介護における尊厳の保持・自立支援／①② (人権啓発の基礎知識を除く) (3)介護の基本、／全項目 (4)介護・福祉サービスの理解と医療との連携／全項目 (5)介護におけるコミュニケーション技術／全項目 (6)老化の理解／全項目 (7)認知症の理解／全項目 (9)こころとからだのしくみと生活支援技術／全項目 (10)振り返り／全項目	介護福祉士 (H23年4月) 実務者研修教員講習会 (H25/4月) ヘルパーステーション <ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護員 (13年2ヵ月) 老人保健施設 <ul style="list-style-type: none"> ・介護職 (2年3ヶ月) 一般社団法人 <ul style="list-style-type: none"> ・初任者研修・実務者研修講師 (9年) 在宅介護支援センター <ul style="list-style-type: none"> ・介護支援専門員 (3年10ヶ月) 社会医療法人平和会吉田病院とみお診療所在宅介護支援センター <ul style="list-style-type: none"> ・介護支援専門員 (3年10ヶ月) 	有
横田 康成	(1)職務の理解／全項目 (2)介護における尊厳の保持・自立支援／全項目 (3)介護の基本、／全項目 (4)介護・福祉サービスの理解と医療との連携／全項目 (5)介護におけるコミュニケーション技術／全項目 (6)老化の理解／全項目 (7)認知症の理解／全項目 (9)こころとからだのしくみと生活支援技術／全項目 (10)振り返り／全項目	介護福祉士 (H23/4月) 大阪府人権擁護士 (R3/3月) 介護事業所 <ul style="list-style-type: none"> ・介護職 (20年6ヵ月) 株式会社アワハウス <ul style="list-style-type: none"> ・介護職 (20年6ヵ月) 	有
木村 将樹	(1)職務の理解／全項目 (2)介護における尊厳の保持・自立支援／①② (人権啓発の基礎知識を除く) (3)介護の基本、／全項目 (4)介護・福祉サービスの理解と医療との連携／全項目 (5)介護におけるコミュニケーション技術／全項目 (6)老化の理解／全項目 (7)認知症の理解／全項目 (9)こころとからだのしくみと生活支援技術／全項目 (10)振り返り／全項目	介護福祉士 (H26/4月) 社会福祉法人障がい者支援施設・介護職 (12年5ヶ月) 社会福祉法人光風会 たちばなの里 介護職 (12年5ヶ月)	有
川上 奈美子	(1)職務の理解／全項目 (2)介護における尊厳の保持・自立支援／①② (人権啓発の基礎知識	介護福祉士 (H22/4月)	有

	<p>を除く)</p> <p>(3)介護の基本、／全項目</p> <p>(4)介護・福祉サービスの理解と医療との連携／全項目</p> <p>(5)介護におけるコミュニケーション技術／全項目</p> <p>(6)老化の理解／全項目</p> <p>(7)認知症の理解／全項目</p> <p>(9)こころとからだのしくみと生活支援技術／全項目</p> <p>(10)振り返り／全項目</p>	<p>介護老人保健施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護職員（3年1ヶ月） <p>グループホーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護職員（9ヶ月） <p>特別養護老人ホーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護職員（2年11ヶ月） 	
		<p>社会福祉法人東香会 香里いちよう園 介護職（2年11ヶ月）</p>	
山口 幸子	<p>(1)職務の理解／全項目</p> <p>(2)介護における尊厳の保持・自立支援／①②（人権啓発の基礎知識を除く）</p> <p>(3)介護の基本、／全項目</p> <p>(4)介護・福祉サービスの理解と医療との連携／全項目</p> <p>(5)介護におけるコミュニケーション技術／全項目</p> <p>(6)老化の理解／全項目</p> <p>(7)認知症の理解／全項目</p> <p>(9)こころとからだのしくみと生活支援技術／全項目</p> <p>(10)振り返り／全項目</p>	<p>介護福祉士（H15/4月）</p> <p>実務者研修教員講習会（R2/6月）</p>	有
		<p>社会福祉法人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護職（11年7ヶ月） <p>介護資格学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初任者研修講師（8年9ヶ月） 	
		<p>株式会社EE21 未来ケアカレッジ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初任者研修講師（8年9ヶ月） 	
喜多 由以	<p>(1)職務の理解／全項目</p> <p>(2)介護における尊厳の保持・自立支援／①②（人権啓発の基礎知識を除く）</p> <p>(3)介護の基本、／全項目</p> <p>(4)介護・福祉サービスの理解と医療との連携／全項目</p> <p>(5)介護におけるコミュニケーション技術／全項目</p> <p>(6)老化の理解／全項目</p> <p>(7)認知症の理解／全項目</p> <p>(9)こころとからだのしくみと生活支援技術／全項目</p> <p>(10)振り返り／全項目</p>	<p>介護福祉士（H26/4月）</p>	有
		<p>病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護職（4年5ヶ月） <p>グループホーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護職（12年1ヶ月） <p>介護資格学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実務者研修講師助手（6年3ヶ月） 	
		<p>グループホーム さくら野里</p> <p>介護職（12年1ヶ月）</p>	
板東 明美	<p>(1)職務の理解／全項目</p> <p>(2)介護における尊厳の保持・自立支援／①②（人権啓発の基礎知識を除く）</p> <p>(3)介護の基本、／全項目</p> <p>(4)介護・福祉サービスの理解と医療との連携／全項目</p> <p>(5)介護におけるコミュニケーション技術／全項目</p> <p>(6)老化の理解／全項目</p> <p>(7)認知症の理解／全項目</p> <p>(9)こころとからだのしくみと生活支援技術／全項目</p> <p>(10)振り返り／全項目</p>	<p>介護福祉士（H28/4月）</p> <p>介護福祉士実務者研修教員講習会（R2/11月）</p>	有
		<p>有限会社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護職（3年10ヶ月） <p>医療法人クリニック デイサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護職（3年9ヶ月） <p>就労支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援（9ヶ月） <p>福祉総合学院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初任者研修/実務者研修講師（1年6ヶ月） 	
		<p>大阪狭山福祉総合学院</p> <p>初任者研修/実務者研修講師（1年6ヶ月）</p>	
原田 惠景	<p>(1)職務の理解／全項目</p> <p>(2)介護における尊厳の保持・自立支援／①②（人権啓発の基礎知識を除く）</p> <p>(3)介護の基本、／全項目</p> <p>(4)介護・福祉サービスの理解と医療との連携／全項目</p> <p>(5)介護におけるコミュニケーション技術／全項目</p> <p>(6)老化の理解／全項目</p> <p>(7)認知症の理解／全項目</p> <p>(8)障がいの理解／全項目</p> <p>(9)こころとからだのしくみと生活支援技術／全項目</p> <p>(10)振り返り／全項目</p>	<p>介護福祉士（H24/4月）</p> <p>介護福祉士実務者研修教員講習会（R3/4月）</p>	有
		<p>株式会社 介護事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護職、障害者自立支援、ガイドヘルパー（2年0ヶ月） <p>病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護職、サービス提供責任者、障害者自立支援、ガイドヘルパー（2年0ヶ月） 	
		<p>株式会社 介護事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理職、介護職、サービス提供責任者障害者自立支援、ガイドヘルパー（4年11ヶ月） <p>株式会社 介護事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護職、障害者自立支援、ガイドヘルパー、サービス提供責 	

		任者（4年6ヶ月）	
		株式会社プレースメント キャリアカレッジ ・初任者研修、実務者研修講師助手（8ヶ月）	
山本 大輔	(1)職務の理解／全項目 (2)介護における尊厳の保持・自立支援／①②（人権啓発の基礎知識を除く） (3)介護の基本、／全項目 (4)介護・福祉サービスの理解と医療との連携／全項目 (5)介護におけるコミュニケーション技術／全項目 (6)老化の理解／全項目 (7)認知症の理解／全項目 (9)こころとからだのしくみと生活支援技術／全項目 (10)振り返り／全項目	社会福祉士（H15/6月） 介護福祉士（H27/4月） 介護支援専門員実務研修修了（H20/3月） 社会福祉法人特別養護老人ホーム ・生活相談員（4年9ヶ月） NPO法人 ・生活相談員、介護職員（2年5ヶ月） 特別養護老人ホーム ・生活相談員、介護職員（13年4ヶ月） 京都府立大学 ・社会福祉実習指導講師（3年） 長岡京せいしん会 特別養護老人ホーム天神の杜 ・生活相談員、介護職員（13年4ヶ月）	有
兼子 昌	(1)職務の理解／全項目 (2)介護における尊厳の保持・自立支援／①②（人権啓発の基礎知識を除く） (3)介護の基本、／全項目 (4)介護・福祉サービスの理解と医療との連携／全項目 (5)介護におけるコミュニケーション技術／全項目 (6)老化の理解／全項目 (7)認知症の理解／全項目 (8)障がいの理解／全項目	介護福祉士（令和3年/4月） 移動支援従業者養成研修（平成30年/10月） 同行援護従業者養成研修一般課程（令和3年/12月） 同行援護従業者養成研修応用課程（令和4年/1月） 障がい者施設 ・生活支援員、生活指導員、ガイドヘルパーホームヘルパー（7年0か月） 急性期、療養期病院 ・介護業務、看護補助業務（4年2か月） 介護資格学校 ・全身性移動支援講師（3年3か月） 生活支援センターすまいる ・ガイドヘルパー、訪問介護員（7年0か月）	無
津田 俊介	(1)職務の理解／全項目 (2)介護における尊厳の保持・自立支援／①②（人権啓発の基礎知識を除く） (3)介護の基本、／全項目 (4)介護・福祉サービスの理解と医療との連携／全項目 (5)介護におけるコミュニケーション技術／全項目 (6)老化の理解／全項目 (7)認知症の理解／全項目 (9)こころとからだのしくみと生活支援技術／全項目 (10)振り返り／全項目	介護福祉士（H14/5月） 介護教員講習会研修証（H元/9月） 介護老人保健施設 ・介護職員（2年0ヶ月） 介護老人福祉施設 ・介護職員（3年0ヶ月） 学校法人専門学校 ・介護職員（11年0ヶ月） ケアセンター ・介護職、サービス管理責任者（4年8か月） ヘルパーステーション ・管理者、サービス提供責任者（9か月）	有

		株式会社癒の道グループヘルパー ステーション癒の道 ・管理者、サービス提供責任者 (9か月)	
矢野 良一	(1)職務の理解／全項目 (2)介護における尊厳の保持・自立支援／①②（人権啓発の基礎知識を除く） (3)介護の基本、／全項目 (4)介護・福祉サービスの理解と医療との連携／全項目 (5)介護におけるコミュニケーション技術／全項目 (6)老化の理解／全項目 (7)認知症の理解／全項目 (8)障がいの理解／全項目 (9)こころとからだのしくみと生活支援技術／全項目 (10)振り返り／全項目	介護福祉士（H14/4月） 実務者研修教員講習会（H29/11月） 特別養護老人ホーム ・介護職（3年） 訪問介護ステーション ・介護職、管理者（8年9ヵ月） 介護サービスセンター ・施設長（3年1ヶ月） 小規模多機能型居宅介護 ・施設長（3年） 介護付き有料老人ホーム ・施設長（5年） 障がい者就労支援事業所 ・介護員、職業指導員、生活支援員、相談員（3年2ヶ月） 福祉資格学校 ・実務者、初任者研修講師（3年4ヶ月） 株式会社日本教育クリエイト三幸福祉カレッジ ・実務者、初任者研修講師（3年10ヶ月）	有
山下 茂雄	(1)職務の理解／全項目 (2)介護における尊厳の保持・自立支援／①②（人権啓発の基礎知識を除く） (3)介護の基本、／全項目 (4)介護・福祉サービスの理解と医療との連携／全項目 (5)介護におけるコミュニケーション技術／全項目 (6)老化の理解／全項目 (7)認知症の理解／全項目 (9)こころとからだのしくみと生活支援技術／全項目 (10)振り返り／全項目	介護福祉士（H28/4月） 実務者研修教員講習会（R3/2月） 合同会社 訪問介護ステーション ・送迎、移動介助（3年3ヶ月） ・訪問介護員（7年4ヶ月） 職業訓練校 ・実務者研修助手講師（2年） 株式会社プレースメント ・実務者研修助手講師（2年6ヶ月）	有
船曳 康子	(2)介護における尊厳の保持・自立支援／①②（人権啓発の基礎知識を除く） (3)介護の基本、／全項目 (4)介護・福祉サービスの理解と医療との連携／全項目 (5)介護におけるコミュニケーション技術／全項目 (6)老化の理解／全項目 (7)認知症の理解／全項目 (8)障がいの理解／全項目 (9)こころとからだのしくみと生活支援技術／（⑤快適な居住環境整備と介護を除く）	看護師（S60/5月） 医療的ケア教員講習会修了（H24/3月） 看護訪問ステーション ・訪問看護師（6年9ヵ月） 医院 ・看護師（3年10ヶ月） 介護福祉教育機関 ・実務者研修、初任者研修講師（18年） 株式会社プロセス ・代表取締役、運営	有
林 小百合	(1)職務の理解／全項目 (2)介護における尊厳の保持・自立支援／①②（人権啓発の基礎知識を除く） (3)介護の基本、／全項目 (4)介護・福祉サービスの理解と医療との連携／全項目 (5)介護におけるコミュニケーション技術／全項目 (6)老化の理解／全項目 (7)認知症の理解／全項目 (9)こころとからだのしくみと生活支援技術／全項目 (10)振り返り／全項目	介護福祉士（H27/4月） 介護福祉士実務者研修教員講習会（R2/3月） 介護福祉士実習指導者講習会（R4/2月） 訪問介護所 ・訪問介護職（5年） 福祉施設 ・生活相談員 ・介護職（5年5ヶ月） 福祉専門学校 ・実務者、初任者研修講師（1	有

		年5ヶ月) 介護事業会社 ・実務者、初任者研修講師 (2年10ヶ月) 運営法人ピースクルーズ C&C アカデミー	
佐久間 加奈	(1) 職務の理解/全項目 (2) 介護における尊厳の保持・自立支援/①②のみ (③人権啓発の基礎知識を除く) (3) 介護の基本、/全項目 (4) 介護・福祉サービスの理解と医療との連携/全項目 (5) 介護におけるコミュニケーション技術/全項目 (6) 老化の理解/全項目 (7) 認知症の理解/全項目 (10) 振り返り/全項目	介護福祉士 (R2/5月) デイサービスセンター ・介護職 (11ヶ月) 福祉施設 ・介護職 (5年8ヶ月) 社会福祉法人 稲穂会 介護職 (5年8ヶ月)	無
長野 亜也子	(1)職務の理解/全項目 (2)介護における尊厳の保持・自立支援/①② (人権啓発の基礎知識を除く) (3)介護の基本、/全項目 (4)介護・福祉サービスの理解と医療との連携/全項目 (5)介護におけるコミュニケーション技術/全項目 (6)老化の理解/全項目 (7)認知症の理解/全項目 (9)こころとからだのしくみと生活支援技術/全項目 (10)振り返り/全項目	介護福祉士 (H14/3月) 介護教員講習会 (H30/2月) 特別養護老人ホーム ・介護職 (4年5ヶ月) グループホーム ・介護職 (2年11ヶ月) 学校法人 ・福祉コース講師 (5年) ・初任者研修、実務者研修講師 (5年9ヶ月) 株式会社プレースメント ・非常勤講師 (1ヶ月)	有
谷山 日斗弥	(1) 職務の理解/全項目 (2)介護における尊厳の保持・自立支援/①② (人権啓発の基礎知識を除く) (3)介護の基本、/全項目 (4)介護・福祉サービスの理解と医療との連携/全項目 (5)介護におけるコミュニケーション技術/全項目 (6)老化の理解/全項目 (7)認知症の理解/全項目 (8)障がいの理解/全項目 (9)こころとからだのしくみと生活支援技術/全項目 (10)振り返り/全項目	介護福祉士 (H30/4月) 実務者研修教員講習会 (H30/12月) 訪問介護事業所 ・介護職 (5年2ヶ月) 就労支援事業所 ・介護職、移動支援 (4年5ヶ月) 放課後デイ ・介護職 (1年) 株式会社 就労支援B型 ・就労支援、生活介護 (1年) 介護資格学校 ・初任者研修、実務者研修講師 (5年5ヶ月) 高等学校 福祉科 ・教員 (4ヶ月) 障がい者生活介護事業所 ・生活介護 (8ヶ月) 障がい者生活介護事業所グレートライフ ・生活介護 (8ヶ月)	有
加藤 都美子	(6)老化の理解/全項目 (7)認知症の理解/全項目	准看護師免許 (H8/8月) 看護師免許 (H13/4月) 医療的ケア教員講習会修了 (H31/3月) 病院 ・看護師 (23年4ヶ月) 看護専門学校 ・教員 (3年) 株式会社プレースメント ・実務者研修、初任者研修講師 (1年6ヶ月)	無
藪内 順子	(1)職務の理解/全項目 (2)介護における尊厳の保持・自立支援/①② (人権啓発の基礎知識を除く)	介護福祉士 (H16/4月) 介護福祉士実習指導者講習会修了 (H29/6月)	有

	(3)介護の基本、／全項目 (4)介護・福祉サービスの理解と医療との連携／全項目 (5)介護におけるコミュニケーション技術／全項目 (6)老化の理解／全項目 (7)認知症の理解／全項目 (9)こころとからだのしくみと生活支援技術／全項目 (10)振り返り／全項目	福祉協議会 ・訪問介護職（2年8ヶ月） デイサービス ・介護職（4年4ヶ月） NPO法人 ・訪問介護職（1年） 介護資格学校 ・初任者研修、実務者研修講師 （8年4ヶ月） 有料老人ホーム ・介護職（1年5ヶ月）	株式会社プレースメント 初任者研修・実務者研修講師 （1年4ヶ月）
--	---	---	---